

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 豊橋市立松山小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒 440-0876  
愛知県豊橋市西松山町42番地

E-mail : matsuyama-e@toyohashi.ed.jp

Website : http://www.matsuyama-e.toyohashi.ed.jp

児童生徒数：男子 136名 女子 151名 合計 287名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### ○生活科「公園探検」

校区の公園で思い切り遊び、楽しんだ。木の実や虫たちも見つけ、いろいろな遊びをした。

松山公園では、二と七のつく日に地域の人が市を出していることを知り、店の人にインタビューもした。

みんな校区の公園が大好きになった。



▲公園内で開かれる「二七の市」

### ○生活科「ひみつはっけん！松山の町」



古くから商業の町であった松山小学校区には、店が多い。子どもたちは、広小路商店街や水上ビル商店街などを何度も探検した。花火屋さんや小鳥屋さん、鯉節屋さんなど気になった店の方には、店内を見せていただいたりインタビューをしたりした。

### ○社会・総合「柿を育てよう」



「豊橋の農産物」として名を知られた柿だが、本校は豊橋市の中心にあるため、身近に柿の木がなかなか見られない。そのため、柿ポットを使って「早秋柿」と「次郎柿」を育てた。生産者の方を招き、育てる苦労や喜びを聞き、柿に愛着がわいた。毎日水をやり、育てた柿を収穫する喜びを味わった。

給食ではじめて出された柿パンをほおぼる子どもたちの顔は、満面の笑顔だった。

### ○総合「大好き！豊橋の農産物」キャベツを育てよう

豊橋は、全国でも有名なキャベツの産地。給食の食材としてもよくつかわれている。そのキャベツを市内富士見町の畑で育てた。生産農家の方に指導していただき、苗を植えた。寒風が吹く中、大きく重く成長したキャベツの収穫を体験した。「豊橋のキャベツは、甘くておいしいね」と子どもの感想。



### ○「花いっぱい活動」お世話になっている方々に全校で育てた花を贈ろう

「こども110番の家」の方をはじめ松山校区の日ごろお世話になっている方々に感謝の心をこめて花を贈った。

この花は、園芸委員会が中心になって、1年生から6年生までの縦割り班「松山フレンズ班」で植えた。各学年で水をやり、花いっぱい育てた。この鉢は、高学年が学校の代表として、お礼のこぼとともに届けた。

地域の方の軒先には、花がきれいに咲き、子どもたちとのつながりを感じる。



○全校活動

「530活動」

「リサイクル活動（アルミ缶集め・ペットボトルキャップ集めなど）」



530（ごみゼロ）活動では、学校内だけでなく近くの公園のごみ拾いや草取りもした。私たちが住む地域をきれいにしたいと考えた。

リサイクル活動では、資源を大切にする意識が向上した。

アルミ缶入れは、ピロティに置き、地域の方もいつでも入れられるようにしている。

海外の子たちにワクチンを届けるためのペットボトルのキャップ入れは、箱を透明にし、集まった量がわかるようにした。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）